

第 10 回町議会と語ろう会報告 意見集約

テーマ：11月2日（水） 防災、まちづくり
11月4日（金） 道路、災害
11月5日（土） 教育、安全安心（防犯）
11月6日（日） 子育て、高齢者支援、移住定住

【防 災（災害）】

問：避難情報は必要な所に正確に届いているか。平坦部の高齢者の一人暮らしの方でも避難したい場合に避難されているか。近所での連帯感が薄れているのではないか。

答：レッドゾーンのなど中山間地の危険地域には直接役場より連絡している。平坦部の方の避難については今後の課題であり各地域の区長等と日頃から話し合っておいていただきたい。

問：Jアラートは家に居ても聞こえない。防災無線が各家庭にあると良いと思うがどうか。

答：防災ラジオの配布について再三一般質問で取り上げてきたが、現時点ではテレビのdボタン広報誌等の様々な情報伝達手段があること、また、検討しますとの回答ばかりでなかなか実行できていない状況にある。大変貴重なご意見として、町に提案していきたい。

問：台風14号接近時の9月18日に総務課より、13時から避難指示を出すので、区長に対し高齢者の方々への避難周知を行ってほしい旨の連絡があった。区長に対し安易に委ねない、人頼みにしてもらわないでほしい。

答：地域防災計画に基づき行っているが、改めて担当課に確認していきたい。

問：柿の原の災害があつて砂防ダムが整備されたが、その改修説明会があつた。造り直すとのことだった。2区は高齢者が多い。自主防災組織の育成が大事であると思う。

答：今後、自主防災組織の編成と育成が重要である。もし災害に遭遇した場合、自助の部分では事前の避難ともしもの場合は垂直避難をしてほしい。

問：消防団員の充足率は85%程度。制度改革及び、団員募集方法を検討すべきでは。

答：町に提案する。

【まちづくり】

問：基山町内の基肆城案内や標識等が壊れたり表示内容に疑問な点がある。どうなっているのか。

答：町内の看板等で気になる箇所があれば役場の担当に直接申し出てほしい。区長会でも情報の提供をしていただきたいと区長からの発言もあり、気づいた方は随時役場の担当部署に報告していただきたい。

問：カーシェアリング事業の展開について。

自動車は今後EV化でガソリン車はスタンドの廃業等で使用が難しくなると思われるが、EV車の購入は特に年金生活の高齢者は無理。町には数多くのスタンドがあるが、全部残れるとは限らない。

町がカーシェアリング事業を行い希望する1～2箇所のスタンドに委嘱すれば、町民の足を確保できるとともに、スタンド救済もできる。議会だより77号でも自家用車無しでも便利な町へと謳っている。

答：電気自動車は現在高額なため、普及にはある程度時間がかかるものと思われる。ガソリンスタンドのEVスタンド化は電気自動車の普及状況次第で、需要と供給のバランスにより切り替わるものと考えているが、ガソリンスタンドが急激に減少する状況ではない。また、町はゼロカーボンシティ宣言を行っているので、公用車が電気自動車化していく可能性はある。今後、EVスタンドが庁舎内に設置された場合は、町民にも活用できるよう提案する。カーシェアリング事業については町や商工会、産業振興協議会に提案してみる。また、電気自動車購入の補助制度は町に提案する。

問：御神幸祭、園部くんちの由来をもっと周知してほしい。

答：町に提案する。

問：きざんの基肆城やオキナグサなどをもっと見てもらいたい。瀧光徳寺から上の道路を拡幅、整備してほしい。

答：町に提案する。

【道 路】

問：役場南側道路（都計道宿辻線）を散歩しているが、横断歩道で手を挙げても止まらない。交通ルールを守ってほしい。信号機の設置の検討や路線が暗いので街灯の設置はできないか。また、東明館の学生が自転車で歩道を通っており危険を感じる時がある。

答：路線が暗い件については、議会でも町に言っている。東明館の自転車の件は、危険防止の呼びかけについて学校に申し入れたい。

（※区長：街灯の件は、町長懇談会時に申し入れを行っている。）

問：豪雨で宮浦協乾東側の道路（3級町道才の上3号線）が冠水し陥没している。1haの農地があり、軽トラックが通れるよう早急に復旧工事を行ってもらいたい。ホテルの鑑賞地になっているが草刈も行っていない。

答：3級町道のほとんどで舗装されていない道路が多い。壊れている箇所については早急に修繕するよう申し入れたい。

問：点字ブロックが敷設されているが、設置の目的や基準が分からない。有る所や無い所もある。例えば、基山駅から役場までは敷設するなど設置方針を明確にしてほしい。

答：設置基準はあると思うが、障がい者の方からの要望も挙がっているので、担当課に基準、方針についても確認していきたい。

問：道路補修について、全体スケジュールはどうなっているのか。

答：令和3年度に建設課公共工事計画室において、道路新設や改良等公共工事の優先順位を含めた「公共施設等管理計画」が改訂されたので活用願いたい。

問：道路の歩道部分に植えてある樹木が大きくなりすぎて、歩道に凸凹があり歩行者の通行に支障をきたしている。

特に、白坂久保田2号線のケヤキが大きくなりすぎている。財政的なことで遅らせるのはいかなものか。優先して対応すべきではないか。

答：見通しの悪い場所は伐採することや、樹木の種類の選定が今後の課題だと認識している。議会でも議論し、町に提言していきたい。

問：道路の修繕やカラー舗装、道路標示が消えている場合、役場や区長、議員にも言っているがいつになったらするのが曖昧だ。いつまでにやるなどのフィードバックをしてほしい。

答：議会としても認識している。町民から提供された道路の破損情報は日時、場所、現場写真などを時系列で管理していくように役場には提言していきたい。

また、町民の誰が情報を提供しても役場が真摯に受け止める体制を構築していくよう提案する。まちづくり提案制度も良いが、すぐに対応することが重要である。役場職員も多数いるのでより多くの目で監視して行くことが大事である。

問：道路端の側溝に蓋が有る所と無い所がある。農業用水路として活用されていない所もあり、危険であるし、蓋をすることで道路を広く使える。

答：通学路の安心安全の面から、既に狭い道で側溝の蓋掛けを実施している所もある。特に通学路となっている所や、交通量の多い所を点検するように町に提案していく。地域からも声を上げていただきたい。

問：白坂地区長崎街道（6区）の道路が狭い。子ども達の通行が危険なので歩道などの整備をしてほしい。

答：町に提案する。

【教育】

問：町内の2小学校の児童数格差について。小規模特認校制度は単に児童数格差を是正するためだけを優先的に進めているが、地域で子育てをし、同じ地区で育つことが将来の消防や行政組合の運営に役立っている。小規模特認校制度は安易すぎるのではないか。

答：子どもは地域で周辺の子どもたちと一緒に育つことが重要であると考え。2校ある場合には、基本的に近い所に通う事が適正な校区の選定基準である。校区の見直しや、人口格差のある行政区の再編も今後の重要な課題である。

問：若基小学校は小規模でも特徴を生かしていけば良いのではないか。基山小学校は今ある校舎を改修するのではなく、周辺の町有地を有効活用して教室を増設するべきではないか。

答：議会でも町立小学校の学校運営に関する特別委員会を設けて議論し、町に提案を行っている。小規模特認校制度にこだわることなく、最良の小学校運営ができるように議会でも取り組んでいきたい。

【安全・安心（防犯）】

問：消防団の諸問題に基山町議会も誠実に取り組んでほしい。各部の課題はどこに投げかけて解決すればよいか。町内企業との協定は結べないのか。

答：議会も部の編成や消防団員の待遇改善など、町からの提案に真摯に取り組んでいる。また、一般質問でも複数の議員が基山町消防団の課題に向き合っている。消防の行事や出動回数は部長会等で対応していただきたい。各部とも区長など地域と綿密に連携を取ってほしい。また、企業協定はこれからの検討課題である。

【子育て支援】

問：2歳児未満が入れる保育園が少ない。見真幼稚園のように保育園の要素を兼ねている幼稚園や、認定子ども園があるが、そのような選択肢を知らない人が沢山いることが問題である。一部施設のことだけでなく全ての施設について、町の広報で平等にしっかりとPRしてほしい。

答：こども課と、企画政策課に提案する。

問：多目的運動場の遊具周辺の修繕工期を明記してほしい。

答：町に提案する。

【高齢者支援】

問：補聴器購入への補助について。

昨年3月議会及び9月議会で大山議員が、さらに今年6月議会で松石信男議員が補聴器購入の補助についての質問（議会だより77・79・82号）。それに対し町当局は、補助の検討を進めると回答している。近年老人が増加し補聴器の需要が増え、軽難聴用の集音器などの新聞広告が散見される。

集音器類はそうでもないが、高度難聴者用としての補聴器は、例えばリオネット補聴器が安くて1個20万円前後という高額なもので、しかも耐用年数は約5年といわれている。それに特殊な電池も必要。

一方、必要な老人の年金は減額され、また10月からは医療費の自己負担も1割から2割と倍増、さらに介護保険料も増額される予定で、近頃の物価高と相まって生活は苦しくなるばかり。身障者へは一部補助があるが、その他必要とする人への補助を早急に実現するよう町に求めてほしい。

※参考：基山町の高齢者 100歳代：16名/90歳代：335名/80歳：1247名（R4.9末）
(305) (967)（R2.9末）

答：引き続き町に提案する。

問：認知症に対する正しい知識を持つことが重要。民生委員、議員、新入職員、学校教育プログラムに導入してほしい。オレンジクラブとタイアップして、図書館などで講演会を開催してほしい。

答：民生委員では研修を行っていると思うが確認する。小学校では、認知症子どもサポーター講座として、既に導入している。また、大人向けの認知症サポーター養成講座も毎年度実施しているが、議員、町の新規採用職員への指導と、講演会の開催については提案したい。

【移住定住】

問：基肆城跡など、基山町の地域資源を発掘し移住定住希望者への情報発信にもっと活用してほしい。移住者の声をもっと聞いたらどうか。

答：町に提案する。

【環 境】

問：ゼロカーボンシティ宣言とあるが、電気自動車を普及させるのであれば町内の充電設備の充実が必要である。

答：電気自動車が普及していけば充電施設は町内でも増えていくのではないかと。まずは、電気自動車を普及させるために、基山町でも休日に貸出しを開始した。安全性については検討していきたい。

問：地域猫、特に基山山頂^{きざん}駐車場付近の猫が増えている。避妊対策は取れないのか。

答：基山山頂^{きざん}付近に長年、猫が住み着いていることは町でも認識している。猫愛好家がエサやりをすることを止めていただく活動に取り組まなければならない。

【その他】

問：基山町のデジタルDXについて。

情報弱者の高齢者にタブレット貸出しを行っているが、今回の機能では不十分である。

また、今回はスマートフォンを持たない一人暮らしの高齢者となっているが、家族がいなくても昼間に高齢者一人となる世帯は多いのではないかと。

答：タブレットについても、基山町と直結しているソフトを入れるなどの取り組みを支援していく。

「ひとり暮らし」の認定は昼間に一人となる高齢者にも範囲を広げ、安心安全を守ることが重要である。ありがたい意見をいただいた。

問：9区の場合、袋小路が多く子どもたちが遊んでいる。「子どもの声がうるさい、勝手に敷地内に入る」などの声がある。区長として回覧で回すことは可能だと思うが、迷っている。

子どもの遊び場所、行き場所はどこなのかと考えるとどうなのか、良いアイデアはないか。

答：コミュニケーションを考えると難しい問題である。道路では遊ばないというのは基本であると思う。町民の皆さんへ遊び場・公園などを紹介していきたい。

問：けやき台駅前駐車場について。

月極駐車場は散見されるが、以前あった時間制駐車場が廃止されている。駅前送迎車用などで長時間の駐車ができないため、一般車の駐車場が皆無。このためこの送迎用を有料化してでも長時間駐車可能にしたらと思うが。

答：町に提案する。

問：JR時刻表について。

昨年からJR時刻表をJRが作成しなくなった。本件は、中村議員に申し上げ調査していただいたが、JRは作成する意思はなく、駅に来て調べるとかパソコンで調べるとか言ったとか。できるなら町の広報きやまの号外でも発行してもらえたらと思う。なんといってもJRは基山町民の足なのだから。

答：町に提案する。

問：職員の人員配置に偏りがある。副町長を中心に業務改善プロジェクトを立ち上げて、外部委託を進めるべきでは。

答：町に提案する。

問：中央公園駐車場出入り口を含め、利用しやすいように整備してほしい。

答：町に提案する。

問：プレミアム付商品券の購入可能額が少なく、高額商品の購入に至らない。町からの補助率を少なくして（40%→20%）購入可能冊数を増やしてほしい。そうした方が、基山町の経済が潤う。また、商売をする側・購入する側両方からのアンケートを取ってほしい。

答：今後同様の事業があれば、町に提案する。

問：役場駐車場のラインが狭い。もう少し駐車に余裕を持たせてほしい。

答：町に提案する。

（意見）

今回の台風時、どこに避難して良いか分からなかったが小ホールに避難した。そこで職員の方に朝までお世話をしていただいた。感謝申し上げたい。

（※区長：区長として地域防災計画の確認をしておきたい。）